

## 平成 27 年度自衛隊音楽まつり

## 神奈川地方協力本部 第 4 期カレッジ防衛モニター 永井 健太

11月14日、平成27年度自衛隊音楽まつりを鑑賞した。自衛隊音楽まつりは、毎年日本武道館で開催される自衛隊最大の音楽イベントである。今年度は「道」をテーマに、陸・海・空自衛隊音楽隊を始め、ゲストバンドとして、在日米陸軍軍楽隊、米海兵隊第3海兵機動展開部隊音楽隊、米空軍太平洋音楽隊、米海軍第7艦隊音楽隊、韓国海軍軍楽隊が参加した。

防衛大学校儀仗隊、日米合同合奏など、数多くの演奏の中で最も感銘を受けたのが自衛太鼓「風」である。会場を埋め尽くした大小の和太鼓による力強い演奏の迫力に圧倒された。また、元航空自衛隊の宇宙飛行士、油井亀美也氏による国際宇宙ステーションからのスピーチに始まったジョン・ウィリアムズメドレーは、その世界観に引き込まれるような演奏だった。全体の構成も非常によく練られており、あっといいう間に時間が過ぎていった。

今回初めて自衛隊音楽まつりを鑑賞したが、音楽隊の息の合った動きや演奏に感銘を受けた。また機会があれば是非鑑賞したいと思う。

## 広報センターイベント

## 自衛隊神奈川地方協力本部60周年記念特別企画「航空機箱絵展」開催



広報センター内（航空機箱絵展）の様子



野外炊具2号（改）によるうどん作りの様子



庁舎前に展示された高機動車とおしるこの配布

自衛隊神奈川地方協力本部神奈川地本（本部長 松田辰雄 1等海佐）は、1月24日（日）から1月31日（日）の間、神奈川地本広報センター及び本部庁舎前において、広報センターイベント「航空機箱絵展」を実施した。このイベントは平成27年度に神奈川地本創立60周年を迎え、その記念に開催されたものであり、また期に1回実施している広報センターイベントの特別企画をも兼ね、地本ホームページや駅のポスター掲示、地元情報誌などの告知により、期間中約400名の見学者を得た。

特に、24日は野外炊具2号（改）を使用したうどん作りを展示し、来場者に配食するなど大盛況を得た。期間中はプラモデルなどの箱絵を描いている和田氏の絵が飾られ、来場者を楽しませていた。イベント最終の土日には高機動車を展示。寒い中來場してくれた人へおしるこ配り、「体が温まって、とてもおいしい！」など、大好評であった。参加者からのアンケートには、「とても楽しいイベントでした。これからもいろいろなイベントを企画してほしい」「こんなところに自衛隊の広報センターがあるなんて知りませんでした。また来たいと思います！」など、たくさんのお意見が寄せられた。

神奈川地本は、「今後も各種イベントを実施し、神奈川地本広報センターの周知を図るとともに、楽しく自衛隊を知ること、自衛隊に対する興味を持ってもらい、募集及び防衛基盤の拡充につなげていきたい」としている。